

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）
開催日時	令和8年4月24日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎2階会議室
出席者	委員：川原議長、松本副議長、斉藤委員、伊尻委員、小野委員、岩穴口委員、山本委員、大宮委員、堀田委員、河野委員、高橋委員、田口委員 事務局：古川地域学習推進課長、鬼頭地域学習推進係長、野田主任、石島主事
議題	(1) 生涯学習の情報発信について (2) 今後の活動について
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題（1）生涯学習の情報発信について</p> <p>●事務局より、見直しを実施した生涯学習のポータルページについて紹介。また、今後の情報発信の活動については、令和8年1月定例会の結論の通り、生涯学習人材情報提供事業のホームページを事務局にて見直しを進め、アクセス解析の結果等も含めて今後状況報告をすることを報告。</p> <p>●議長：事務局より見直したポータルページの説明、および今後の活動の方向性について説明があったが、何か意見はあるか。</p> <p style="text-align: center;">一同、異議なし</p> <p>議題（2）今後の活動について</p> <p><既存のアンケートの分析について></p> <p>●事務局より、前回の定例会にて決まった今後の活動テーマである「ライフステージに応じた生涯学習の課題」、及び具体的な活動案として「既存のアンケート結果の考察」等について改めて説明。また、今回の定例会では、既存のアンケートとして「西東京市教育計画策定のためのアンケート調査」の結果について考察を行うことを説明。</p> <p>●議長：事務局より、「西東京市教育計画策定のためのアンケート調査」について説明があったが何か意見はあるか。</p> <p>○議長：質問の2.2「生涯学習の必要性を感じますか。」への回答を見ると、青少年・一般市民ともに多くが必要だと感じている。また、生涯学習のニーズを把握する上では、質問の2.5「生涯学習の一環として、人々が学びたい時に学べるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。」への回答が重要だと考える。</p>	

<今後の進め方について>

●事務局より、今期の定例会について、令和8年12月から令和9年6月の会議は成果物の検討に充て、残る協議可能な令和8年4月から11月の会議における具体的な活動内容を議論して決めることを提案。また、スケジュール案として下記3案についても説明。

(案1)

ライフステージを若者世代、現役世代、シニア世代等の三つに分け、順番に議論する案。4月にアンケート結果を分析し、5月以降はライフステージごとに課題の洗い出しや対策を議論し、必要に応じて研修等の要否を検討する。そして12月以降に成果物をまとめるスケジュールである。

(案2)

ライフステージごとにグループを分け、グループディスカッションにより同時に課題の議論する案。4月は案1と同様にアンケート結果を分析し、5月には詳細な課題の洗い出しを実施する。6～7月には研修等の要否を議論し、8～9月には課題の対策を議論、11月にこれまでの議論をまとめ、12月以降に成果物を作成するスケジュールである。

(案3)

ライフステージを一つに絞り、時間をかけて議論する案。日程は案2と基本的に同じであるが、対象を絞ることでより詳細な検討を行う。

●議 長：事務局よりスケジュール案の説明があったが、何か意見はあるか。

○委 員：広い範囲を扱うためにも、案1が良いと考える。アンケートの「忙しくて時間がない」や「費用がかかる」という声はよく聞くため、そこをどう解決するか考えるべきだと思う。また、議論の進め方については、順番に議論をするのではなく最初に課題出しの議論をし、その結果挙がった課題に対してどう対策するかを議論する流れが良いと思う。

○委 員：例えば、現役世代でも新卒の方や子育て世代等幅が広いので、案3で現役世代に絞っても良いと思う。他のライフステージについても言及が必要な場合は、これまでの提言作成時に議論した内容から引用して作成できると思う。

○委 員：案1が良いと思うが、議論する時間が不足する可能性が高い。
また、現役世代については、何歳までを現役と定義するか議論した方が良いと思う。

○委 員：あくまで私自身の実体験だが、生涯学習に関する施設に行くと、シニア世代向けの生涯学習情報や学習場所は充実しているような印象を受ける。

○委 員：小・中学生や大学生が、学校が終わった後にどのような学習をしているかを知りたい。

○委 員：若者世代とシニア世代はこれまでも分析されているが、現役世代はあまり分析されていないと思う。現役世代は忙しくて生涯学習に参加ができないのだと想像するが、そこに踏み込む必要があると考える。
また、3つのライフステージではなく、現役世代をさらに分類分けして議論していく方が良いと思う。

○委 員：グループ分けすると議論する人数が少なくなるため、全員で議論すると良いと思う。
まず一つのライフステージについて議論し、次に別のライフステージの議論へ移るか柔軟に決めていっても良いと考える。

○委員：講座等に参加しなかった子どもたちに話を聞くと、「忙しくて参加ができない」や「親から参加する必要はないと言われた」ということを聞いた。そのような価値観の変化も考えていく必要があると思う。
また、アンケートの「生涯学習を行うにあたって困る点は何ですか。」の回答に費用がかかると思ったが、生涯学習はお金がかからないものもあるので、それをどのように周知するかを考えることも大事であると思う。

○委員：現役世代の内、例えば子育て世代は、子どもの手がかからなくなり時間ができたという方も多いと思う。そのため、現役世代に絞ったとしても、幅広い議論ができると思う。

●議長：これまでの議論から、案3を採用して現役世代を中心に議論を進め、他のライフステージについては必要に応じて議論することとしたいが、よろしいか。

一同、異議なし

●議長：次に、具体的なスケジュールについて議論したいと思う。まず、現役世代について議論する項目について、これまでの議論から、例えば下記の項目があるかと思うが、他に何かあるか。

(現役世代について議論する項目一覧)

- ・子育てとの両立
- ・仕事との両立
- ・生涯学習そのものの理解、価値観の変化

○委員：会社員の場合、会社が学習費用の負担をしてくれる場合もあるので、所属の違いによる影響も考慮が必要だと思う。

○委員：子育てとの両立とあるが、子育てをしていない世代についても考える必要があると思う。

○委員：「働き方」についても議論が必要だと思う。

○委員：介護をしている方も考える必要があると思う。

○委員：引きこもりの方や、会社員で休職している方など、支援が必要な方についても考える必要があると思う。

○委員：支援が必要なのは、引きこもりの方の家族だと思う。

○委員：公民館で学ぶかオンラインで学ぶか等、学習形態についても議論が必要だと考える。

○議長：本日既存のアンケートを分析したが、追加のアンケート調査は実施するか。

○委員：今何か講座を受講しているか、していないならしていない理由は何か、など何をアンケートするかが決まれば、関係者等に聞いて回っても良いと思う。

○委員：色々な立場の人がいるので、あまり細かく挙げていくとなくなりになってしまう。
また、追加の調査について、有効なアンケートとするには一定の回答数が必要になる。
数が少ない場合は、このような声があった等といった見せ方になると思う。

●議 長：今回挙げた項目を追加すると以下の通りかと思うがよろしいか。

(現役世代について議論する項目一覧)

- ・子育てとの両立
- ・仕事との両立
- ・生涯学習そのものの理解、価値観の変化
- ・本人・環境（所属）の違い
- ・働き方
- ・学習形態（対面、オンライン等）
- ・介護との両立
- ・支援が必要な方（ひきこもりの方の家族等）

一同、異議なし

●議 長：次に、具体的なスケジュールを議論したいと思う。例えば下記のスケジュールを提案したいと思うが、何か意見はあるか。

- 4月 : アンケート結果の分析、進め方の議論
- 4月～6月 : 課題議論
- 7月 : 研修又は視察の要否の議論
- 9月 : 研修又は視察（必要に応じて実施）
- 6月～11月 : 課題対策の議論
- 11月～12月 : これまでの議論のまとめ

一同、異議なし

●議 長：次回5月の会議で課題議論をすることに決まったが、これに関して、事務局から何かあるか。

●事務局より、より闊達な議論ができるように、委員各位には、可能な範囲で議論のテーマに関連したインターネット等の文献を調査していただきたいことを提案。

●議 長：本日の議論で、ライフステージについては現役世代を中心に議論していくことが決まった。そのため、委員各位には、現役世代に関して負担のない範囲で調査いただき、今後の議論項目に追加すべきものがあれば、次回共有していただきたいと思うがよろしいか。

一同、異議なし

次回会議

日時 令和8年5月22日（金）午後2時

場所 田無庁舎1階 102会議室